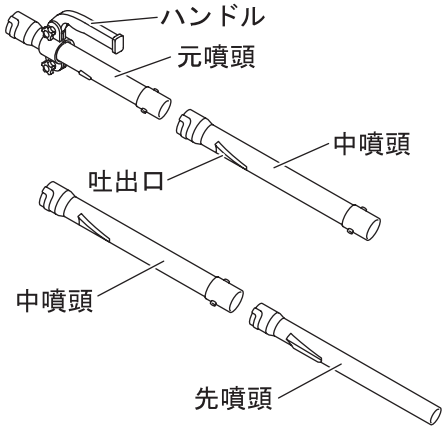
畦畔噴頭の使用方法
ＤＭＫ－２

畦畔噴頭（ＤＭＫ-２）は、背負動力散布機での粒状肥料・水田用除草剤などの粒剤散布にご使用ください。

重要

・粒剤は試し散布を必ず行ってください。
・ご使用になる肥料や農薬のラベル及び、背負動力散布機の取扱説明書をよくお読みください。



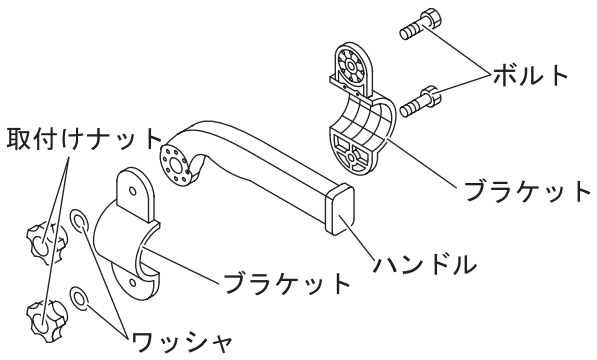
１．噴頭の仕様

１）噴頭の本数 ----------４本
２）接続管の長さ ----------2,110 mm
３）噴頭の質量 ----------920 g
４）吐出口（先端を含む）----------5 ヶ所

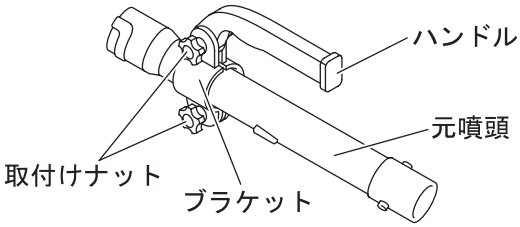
２．組立

１）回動噴管側から元．中．中．先．の順番で確実に組付けてください。
２）噴頭ごとの吐出口が一線に揃うようにセットしてください。
３）背負動力散布機側の回動噴管に組付けてください。

３．ハンドルの組付

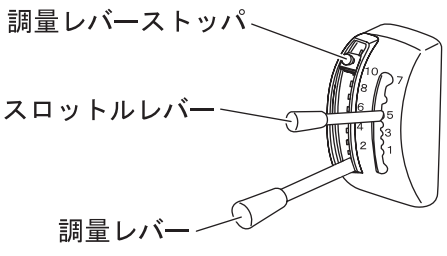


（元噴頭にハンドルを組付ける）
ハンドルは仮組の状態で梱包されていますので、お客様のご使用状態に合わせて取付けナットをゆるめ、ブラケットを元噴頭にセットしてください。

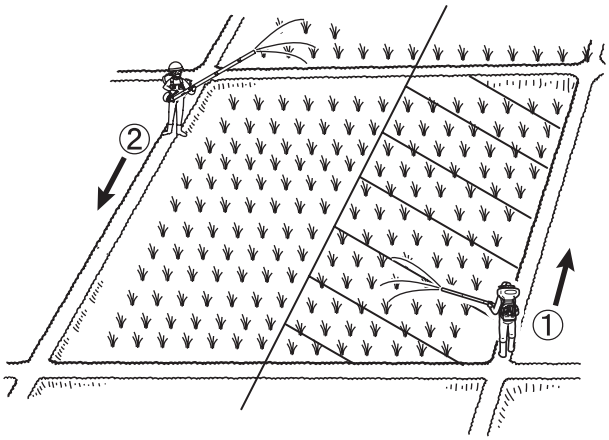


ブラケットの位置と、ハンドルの角度を作業しやすくなるように調整し、取付けナットを締付け、固定してください。

４．散布手順

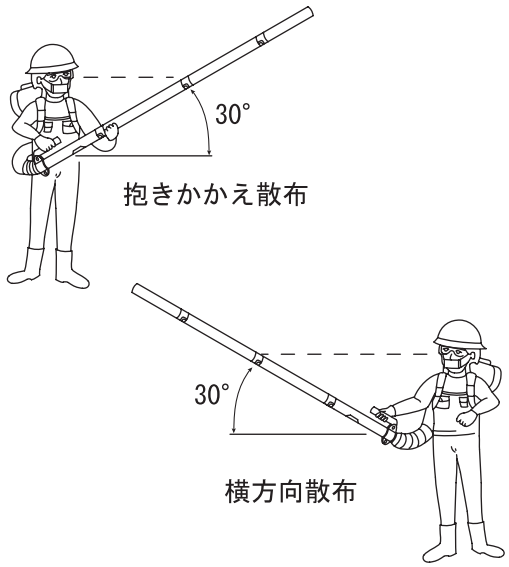


１）薬剤タンクに粒剤を入れる前に調量レバーストッパを調量レバー開度に合わせてセットしてください。（調量レバーの位置は背負動力散布機の取扱説明書、吐出量と調量レバーの項を参照してください。）
２）調量レバーを閉じて、調量シャッタが閉じられていることを確認し、薬剤タンクに粒剤を入れてフタをしっかり締めてください。



3）エンジンを始動し、背負動力散布機を背負って、噴頭を約 30 度上向きにします。（オートスタート付は、背負って撒き始めの位置でエンジンを始動することができます。）
4）撒き始める位置でエンジンを使用回転にあげ、調量レバーもストッパの位置までゆっくり開けて吐出させます。
5）粒剤が吐出し始めたら、散布諸元設定の散布速度で平均に歩き始め、撒き終わりで調量レバーを閉じます。
6）以下同様にくり返して散布します。

＊広い圃場で散布する場合には、圃場の両側（①＋②）の散布を合わせて全面散布します。
＊散布する粒剤、銘柄によって散布効果が異なる場合があります。



5．散布方法

噴頭を支えて散布する方法には抱きかかえ散布と横方向散布があります。
噴頭の角度が約 30 °を目安に散布してください。
風の向き、強さおよび散布剤によっては噴頭角度の調整が必要な場合があります。
手前より２本目と３本目の噴頭の継ぎ目の高さが、作業者の目の高さと同じになるようにすると、噴頭の角度が約 30 °になります。

6．吐出量と調量レバー

各背負動力散布機の取扱説明書、散布作業の項を参照してください。